

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年08月30日

計画の名称	篠原地区における安全・安心・快適な生活空間の創出（重点）																			
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）										重点配分対象の該当		○							
交付対象	南国市																			
計画の目標	南国市都市計画マスタープランにおいて、「利便性の高い交通ネットワークづくり」、「高齢者にやさしい安全で安心な生活環境づくり」、「快適で良好な居住環境づくり」等が都市づくりの基本方針として整理されている。また、本地区は、南国市立地適正化計画における都市機能誘導区域内に位置している。 そのため、本地区においては、県施行である都市計画道路整備と併せて、一体的な面整備事業を実施し、土地利用上の課題（未接道地、避難経路の解消）を解決し、土地利用の増進を図るとともに、安全・安心で快適な居住環境づくりをめざす。																			
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,148		A	1,148		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	本事業により都市基盤が整備されたことで建物等が建築され、未利用地の状態が解消された仮換地地積 従前が未利用地であった仮換地のうち、整備後新たに宅地利用された仮換地面積	0m2	1000m2	3000m2
2	生活の基盤整備が確保されたことで居住誘導が促進され、新たに建築された住家等の棟数（累計） 施行地区内で新築された住家等の棟数（区法76条許可件数より算定）	0棟	10棟	30棟

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	南国市	直接	南国市	-	-	篠原土地区画整理事業	都市再生区画整理事業 A=5.1ha	南国市	■	■	■	■	■	1,148		-	
												小計						1,148		
											合計						1,148			

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
-	令和6年8月
	公表の方法
	南国市ホームページ
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	区画整理による一体的な面整備事業を実施したことで、住宅等が建築され、未利用地が解消された。また、新たな生活基盤が確保されたことで居住誘導が促進された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	-
○ 特記事項（今後の方針等）	
-	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	宅地利用された仮換地面積		
	最 終 目標値	3000m2	一体的な面整備を行ったことで土地利用上の課題（未接道地、避難経路の解消）が解決し、住宅等の建築が増加したため。
	最 終 実績値	10236m2	
2	住家等の新築棟数		
	最 終 目標値	30棟	新たな生活の基盤が確保されたことで、居住誘導が促進されたため。
	最 終 実績値	56棟	

計画の名称：篠原地区における安全・安心・快適な生活空間の創出
計画の期間：平成30年度 ～ 令和4年度 （5年間）
交付対象 ：南州市

